

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 5月 21日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県丹波篠山市郡家403番地4

氏名 三井ミナハト・メタル株式会社製造部
部長 鈴木 昌行

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 079-552-2141

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井ミナハト・メタル株式会社 製造部 篠山製造課
事業場の所在地	兵庫県丹波篠山市郡家403番地4
計画期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2351 銑鉄鋳物製造業（鋳鉄管，可鍛鋳鉄を除く）
②事業の規模	製造品出荷額 1,675百万円（2019年度実績）
③従業員数	48名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	（これまでに実施した取組） 2011年10月より鑄造後バリシ工程から砂再生装置へ送られる前に、自動選別機(マグネット式)を導入し、鉄分を回収し廃砂量の削減をした。(削減量約24t、1%)また、一部の職場で簡易シートを床面に敷き、その上で作業することにより砂の回収・再利用を可能にする作業改善を実施している。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	（今後実施する予定の取組） ① 鑄枠の改造による鑄物砂投入体積の削減を推進。 ② 床面に砂をこぼさない作業改善の推進とこまめな清掃。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 8種に分別し、スクラップ・電線・ダンボール等売却出来る物は売却して発生量の削減をはかる。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		

別紙のとおり

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙のとおり

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理計画

(1) 事業の概要

資本金	4億9,200万円（全事業所）	
従業員数	48（篠山製造課）	
製造品出荷額	1,675百万円（2019年度実績）	
製造概要フローシート	別紙-1	
工場配置図	別紙-2	
廃棄物発生フロー	別紙-3-1	
連絡先	所属部署:	篠山製造課調達チーム
	氏名:	矢野 敏晴
	電話番号:	0795-52-2141
	FAX:	0795-52-2144

(2) 計画期間

平成31年4月～令和2年3月

(3) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理組織図	別紙-3-2
産業廃棄物処理責任者	: 矢野 敏晴
特別管理産業廃棄物管理責任者	: 鈴木 昌行

(4) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

目 標	生産量対比で前年排出量の1%削減
現 状	<p>鋳物砂は、フラン樹脂と混練して循環装置により成型工程に送られ 鋳造後バラン工程で採取される。採取された砂は再生装置に送られて 再生処理の後、再び循環装置を経て製造工程に送られる。 この時摩耗により微粒化した砂のみ集塵機に採取されて廃砂として廃棄物となる。 又、作業中床にこぼれた砂も清掃により廃砂として廃棄物となる。 製品不良を率引き下げるため品質会議を月2回行っている。製品不良率が下がることにより鋳物砂の使用量を 浪費することがなくなり廃砂の発生量を削減できる。</p>
具体的取組	<p>平成16年度キューボラより電気炉へ溶解設備を変更しレンガ屑等の削減が図れている。 鋳枠の内部を改造し鋳物砂の投入体積を削減を推進する。 床面に砂をこぼさない作業改善を推進する。</p>
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者による社内講習
中長期的課題	購入材料の梱包を再利用可能な容器に変更するよう材料メーカーに要請する。

(5) 産業廃棄物の分別に関する事項

目 標	廃棄物の分別を適切且つ継続的に行えるよう社員に指導する。
具体的取組	<p>各職場の環境委員による分別の指導を実施し、各々保管場所を設けている。 分別内容: ①鉄屑、②電球類、③ビニール・プラスチック類、④ダンボール類、 ⑤可燃ゴミ、⑥鋳さい(溶解ノロ)、⑦鋳さい(鋳物排砂)、7種類に分別 この内鉄屑・ダンボール類を売却している。</p>

教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者による社内講習		
分別に係る情報収集管理	篠山市、商工会セミナーによる情報と交付資料による。		
分別に係る施設の状況	コンクリート壁仕切による分別ヤードの設置、その他ドラム缶・コンテナ・バツカンを設置		
	分別名称	保管体積	換算重量
	鋳さい(ノロ・レンガ屑)ヤード	108m ³	約162t 屋外
	鋳さい(鑄物排砂)鉄バツカン30缶	2.2m ³	約1t 屋外
	鉄屑コンテナ1台	2.2m ³	約3t 屋外
	ガラス類ドラム缶1缶	0.2m ³	約50kg 屋外
	水銀使用製品ドラム缶1缶	0.2m ³	約50kg 屋外
	発泡スチロールヤード	40m ³	約600kg 屋外
	発泡スチロールコンテナ台	13m ³	約200kg 屋外
ビニール・プラスチック類バツカ4缶	2.2m ³	約50kg 屋外	
中長期的課題	廃プラ(混合)の分別が課題である。現状、ほぼ埋立処分となっている。		

(6) 産業廃棄物の再生利用に関する事項

目 標	鋳さいを鑄物排砂とノロ・レンガ屑に分別し、それぞれセメント材料、路盤改良材としてリサイクル可能な保管状況を維持する。
具体的取組	鑄物排砂はセメント材料として、ノロ・レンガ屑は路盤改良材として100パーセントリサイクルしている。処分の場所、方法が異なるこの2種類の産廃が混合しないよう保管場所の区分、社員への周知を行っている。
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者が他の従業員にミーティング等で教育する。
再生利用に係る情報収集管理	市商工会、関係企業、取引先等主催セミナーによる情報と交付資料による。
再生利用に係る施設の状況	ノロ・レンガ屑保管ヤード(162m ³ /約243t)、鑄物排砂保管用鉄バツカン30台程度(1台=2.2m ³ /約1t)、発泡スチロールヤード(40m ³ /約600kg)、発泡スチロールコンテナ(13m ³ /約200kg)
中長期的課題	鋳さい(溶解ノロ・鑄物排砂)について、完全リサイクル化が出来ている状態である。今後も成分については処分業者の受け入れ基準を満たしているか定期的に確認し、継続的に処理が委託できるよう管理する。

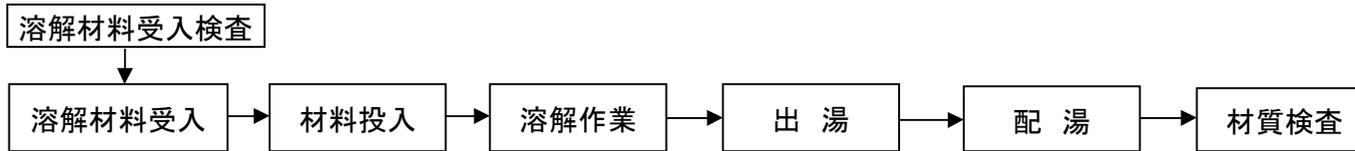
(7) 産業廃棄物の処理に関する事項

目 標	産廃の収集運搬から中間処理・最終処分まで法令を順守する。
具体的取組	処分業者の選定は優良認定を取得しているか等を判断基準として行う。また、定期的な現地視察を実施し契約通りの処理が確実に行われていることを確認する。
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者が他の従業員にミーティング等で教育する。
廃棄物処理に係る情報収集管理	市商工会、関係企業、取引先等主催セミナーによる情報と交付資料による。
廃棄物処理に係る保管施設の状況	鋳さい保管ヤード(162m ³ /約243t)、発泡スチロールヤード(40m ³ /約600kg)
中長期的課題	引き続き、鋳さい(溶解ノロ・鑄物排砂)について、完全リサイクル化が出来ている状態である。今後もその状況を維持できるよう、処分業者の処分状況について定期的に確認を行っていく。

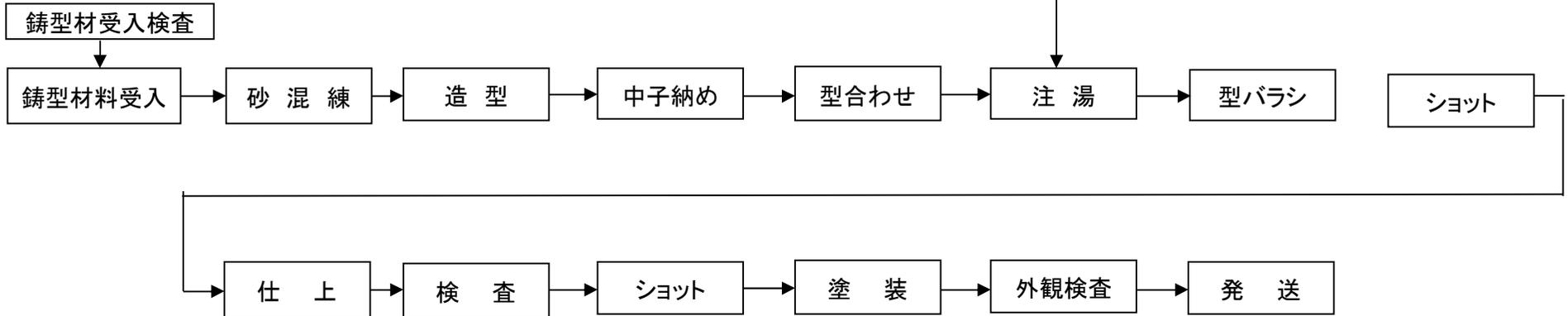
製造概要フローシート

三井ミーハナイト・メタル(株)
製造部 篠山製造課

A. 溶解工程



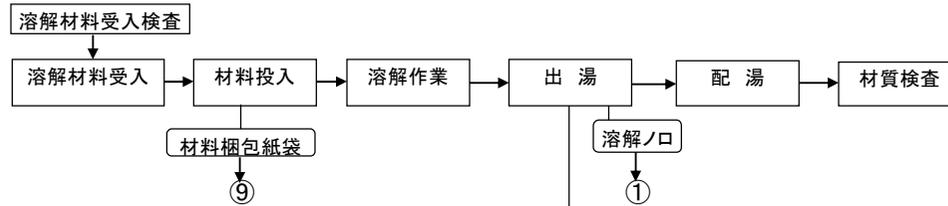
B. フラン自硬性鑄造工程



廃棄物発生フローシート

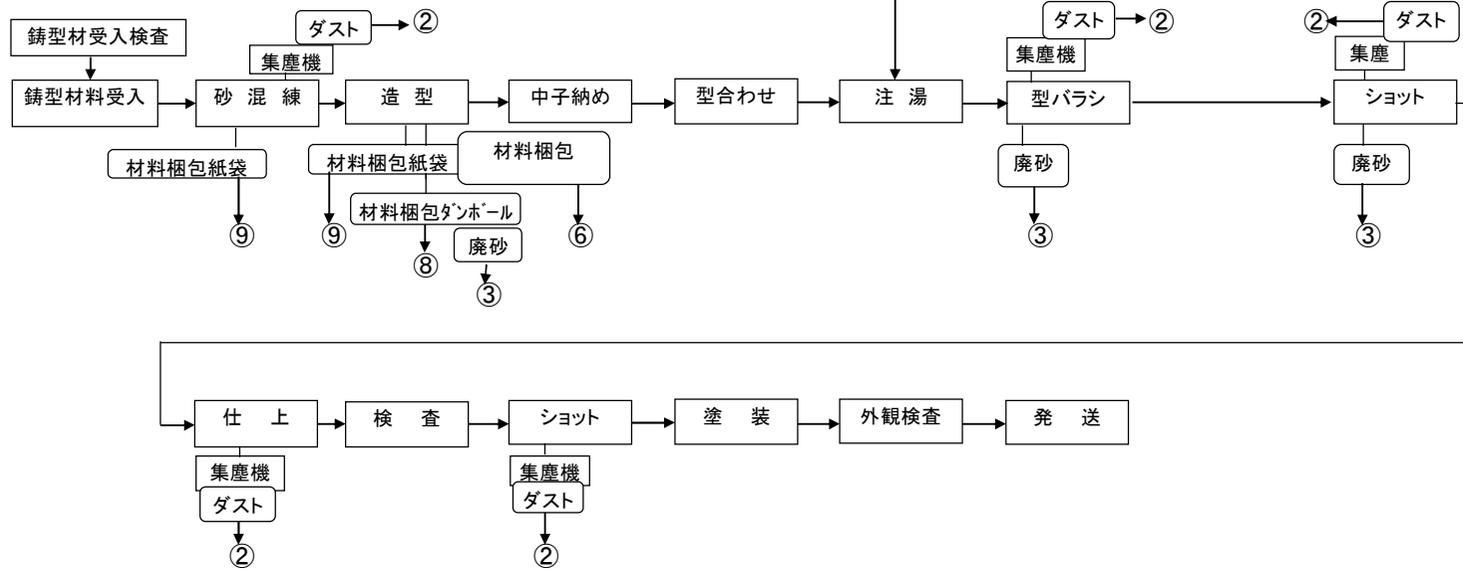
三井ミーハナイト・メタル(株)
製造部 篠山製造課

A. 溶解工程



廃棄物分別保管場所	
①	鋳さい(ノロ)保管場所
②	鋳さい(リサイクル用)保管場所
③	鋳さい(埋立用)保管場所
④	鉄屑保管場所・・・設備改修屑
⑤	ガラス・電球屑類保管場所・・・設備改修屑
⑥	ビニール・プラスチック屑類保管場所
⑦	ゴム屑保管場所・・・設備改修屑
⑧	ダンボール屑類保管場所
⑨	燃えるゴミ置場

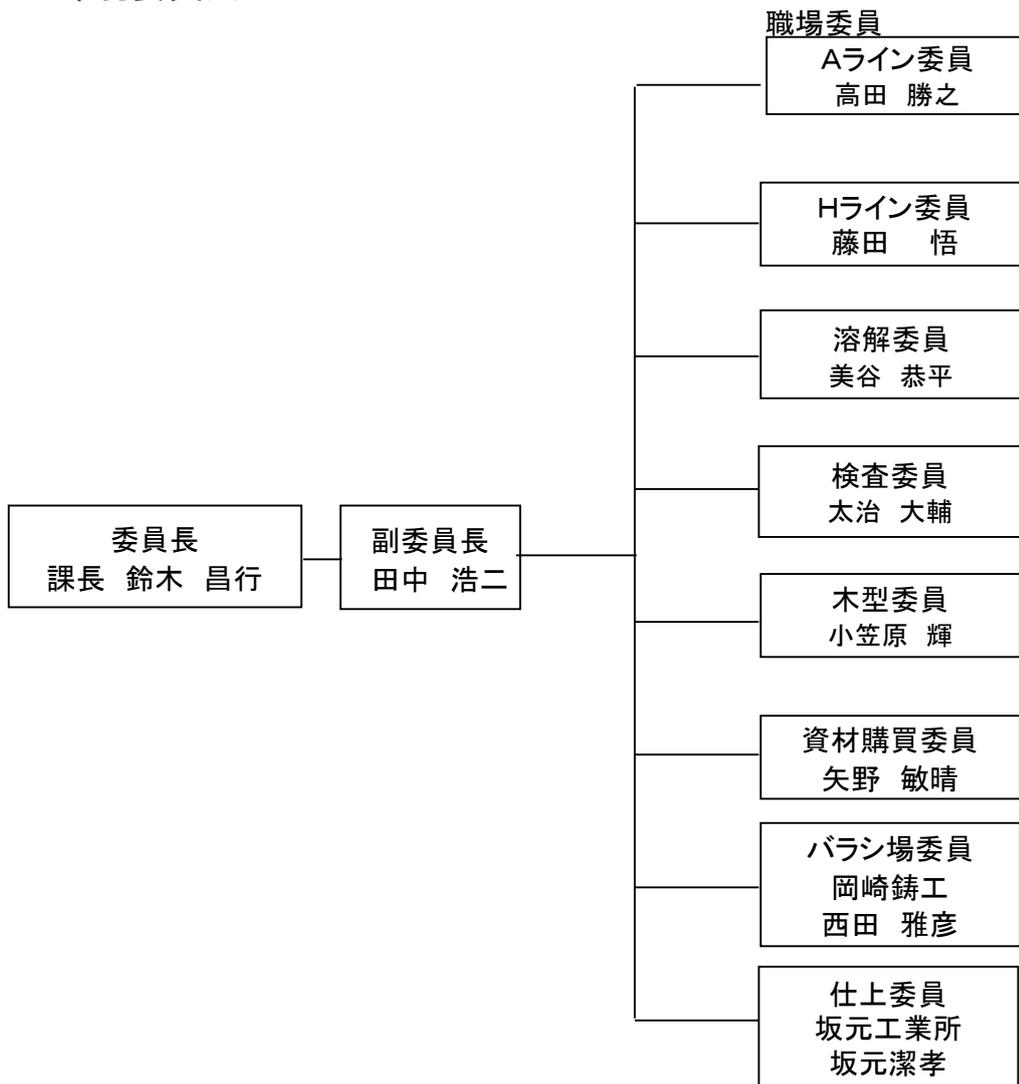
B. フラン自硬性鑄造工程



三井ミーハナイト・メタル(株)
製造部 篠山製造課

産業廃棄物の処理に係る管理体制組織図

環境委員会



	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		産業廃棄物の分別に関する事項		産業廃棄物の分別に関する事項		の中間処理に関する事項		埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
	①現状	②計画	①現状	②計画	①現状	②計画	①現状	②計画	①現状	②計画	①現状	②計画
鋳さい	1,550	1,535	0	0	0	0	0	0	0	0	1,550	1,535
廃プラ	63	62	0	0	0	0	0	0	0	0	63	62
廃油	1.6	1.58	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	2
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.006	0.006	0	0	0	0	0	0	0	0	0.006	0.006
木屑	86.4	85.5	0	0	0	0	0	0	0	0	86	85.5
計	1,701	1,684	0	0	0	0	0	0	0	0	1,701	1,684